

令和 6 年 1 0 月 7 日

報 道 発 表 資 料

川崎市(経済労働局・まちづくり局)

川崎市教育委員会事務局

労働会館改修工事について

現在進めている労働会館改修工事の過程において、本年 6 月に敷地内に地中埋設物が確認され、除却等について検討を行った結果、工期期間が約 7 か月延長及び工事費等が約 3. 3 億円増額などの影響が確定しましたので、御報告いたします。

1 確認された埋設物

シートパイル…地下のある建物を新築する場合などに地下水の侵入を抑え、周辺の地盤が崩れないよう、作業スペースや安全性を確保するために地中に埋設する仮設物

2 埋設物確認による影響

(1) シートパイルの工事 箇所に応じて除却又は切断

(2) 工期延長 約 7 か月

(3) 工事費等 約 3. 3 億円の増額

(シートパイルの除却等 約 0. 8 億円 共通費等・工事監理費 約 2. 5 億円)

3 今後の予定

令和 7 年 4 月 現在設置されている仮設足場の撤去後、当該箇所のシートパイルの有無の確認及び除却等の工事を開始

令和 8 年 7 月 工事完了

令和 8 年 9 月 供用開始

4 添付資料 参考資料

問合せ先

【労働会館に関すること】 川崎市経済労働局労働雇用部
宮本 電話 044—200—2298

【教育文化会館に関すること】 川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
柿森 電話 044—200—1980

【改修工事に関すること】 川崎市まちづくり局施設整備部公共建築担当
竹村 電話 044—200—2967

労働会館改修工事等については、令和 6 年 3 月に工事請負契約を締結し、同年 4 月に工事着手しましたが、改修工事の過程において、敷地内に地中埋設物が確認されたことから、その除却等に伴う工期延長や工事費等の増額などについて御報告いたします。

【工事概要】

川崎市教育文化会館（以下「教育文化会館」という。）と川崎市立労働会館（以下「労働会館」という。）の再編整備に併せて、現在の労働会館を大規模改修し、川崎市川崎市民館・労働会館（以下「川崎市民館・労働会館」という。）を設置するものです。

工事名称	労働会館改修工事（建築）	労働会館改修舞台照明設備工事
	労働会館改修電気設備工事	労働会館改修舞台音響設備工事
	労働会館改修空気調和設備その他工事	労働会館改修昇降機設備工事
契約金額 （合計）	77億4,160万2千円	
敷地面積	4,957.47㎡	
建築面積	公会堂：2,802.97㎡、設備棟：353.31㎡、ゴミ置場：10.98㎡	
延べ面積	公会堂：9,667.14㎡、設備棟：353.31㎡、ゴミ置場：10.98㎡	
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 5 階建て	

地中埋設物について

改修工事の過程において、令和6年6月に敷地内にシートパイル（鋼矢板）の埋設が確認され、当該シートパイルの一部が、新設する控え壁の基礎、杭及び建物周囲に埋設する設備配管等に干渉することが判明しました。

改修工事において、通常、埋設物の事前調査は実施しておらず、また、シートパイルは、工事中に除却されることが多いこと、その存在を事前に確認するためには、市民が利用中の施設の花壇や舗装等を解体する必要があることなどから、埋設されていることを把握していない状況でした。

※シートパイルとは、地下のある建物を新築する場合などに、地下水の侵入を抑え、周辺の地盤が崩れないよう、作業スペースや安全性を確保するために地中に埋設する仮設物



【埋設シートパイル】

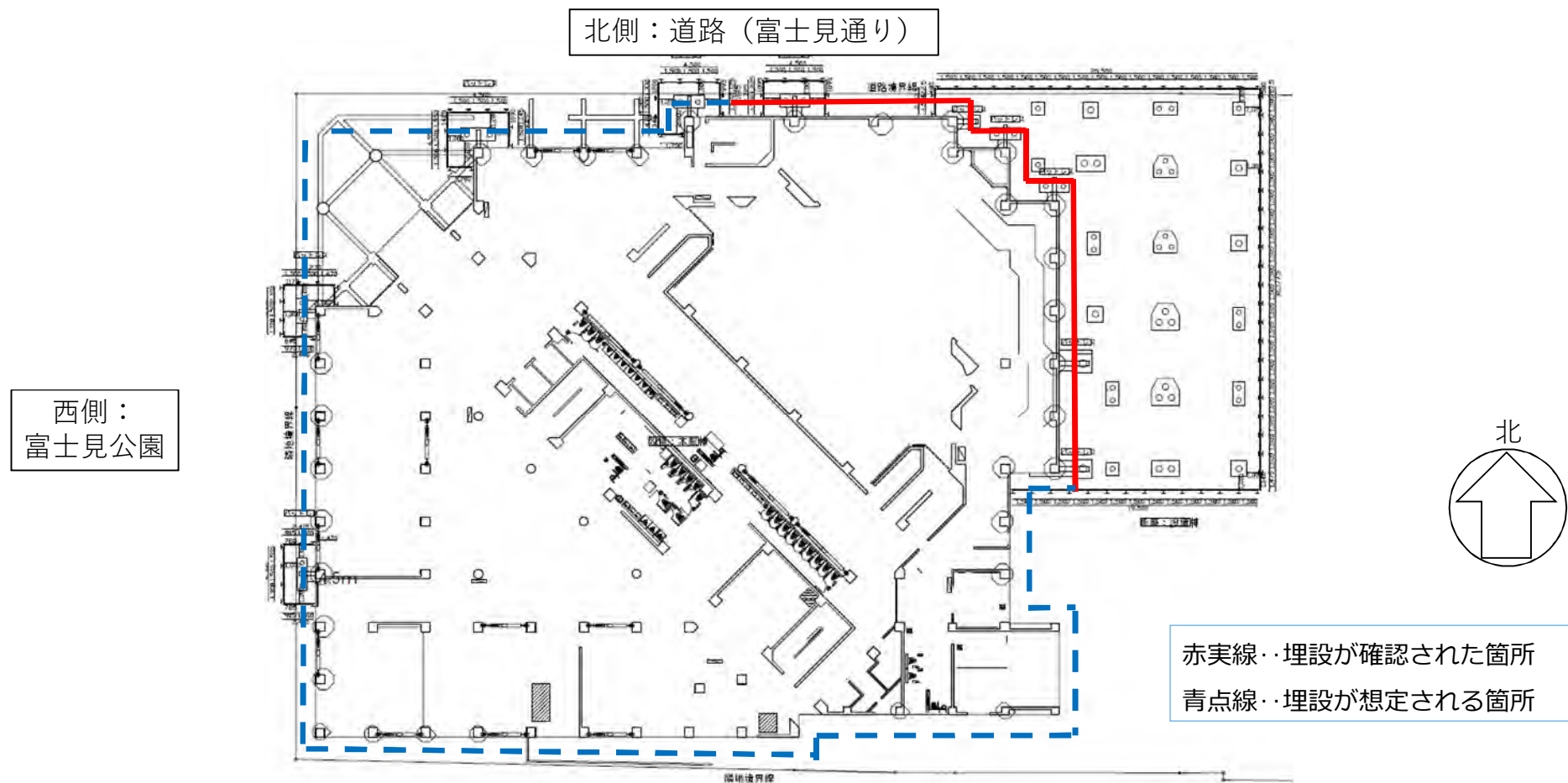


【他工事での事例】

シートパイルの埋設箇所について

建物東側及び北側の一部において、外壁に沿ってシートパイルの埋設を確認しており、新設する控え壁の基礎、杭及び建物の周囲に埋設する上下水・ガス・電気の設備配管等に干渉する部分については、除却又は切断する必要があります。

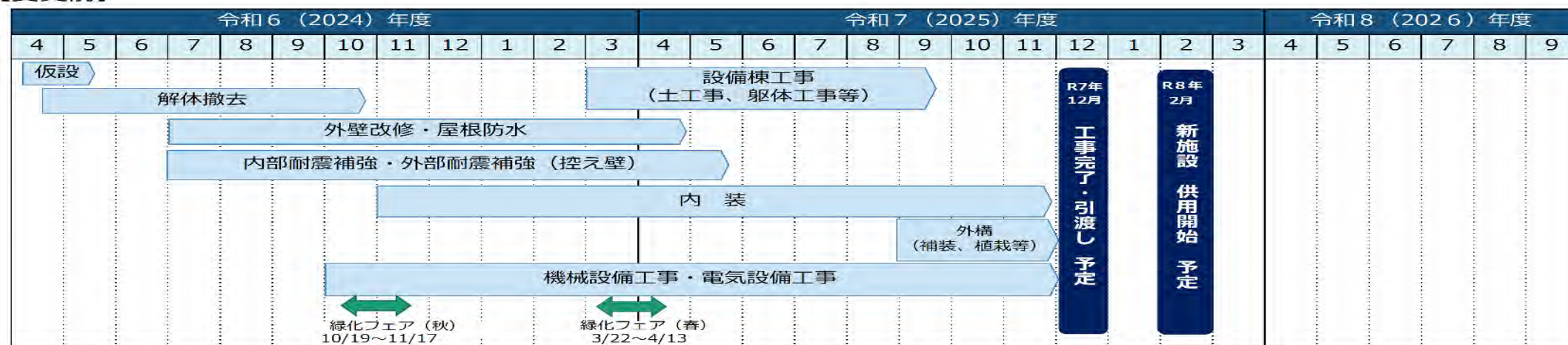
また、埋設が確認された箇所以外については、仮設足場が設置されているため、仮設足場の撤去後にシートパイルの有無を確認することになりますが、建物東・北側同様に建物の外壁に沿ってシートパイルの埋設が想定されており、干渉する部分については、除却等を行う予定です。



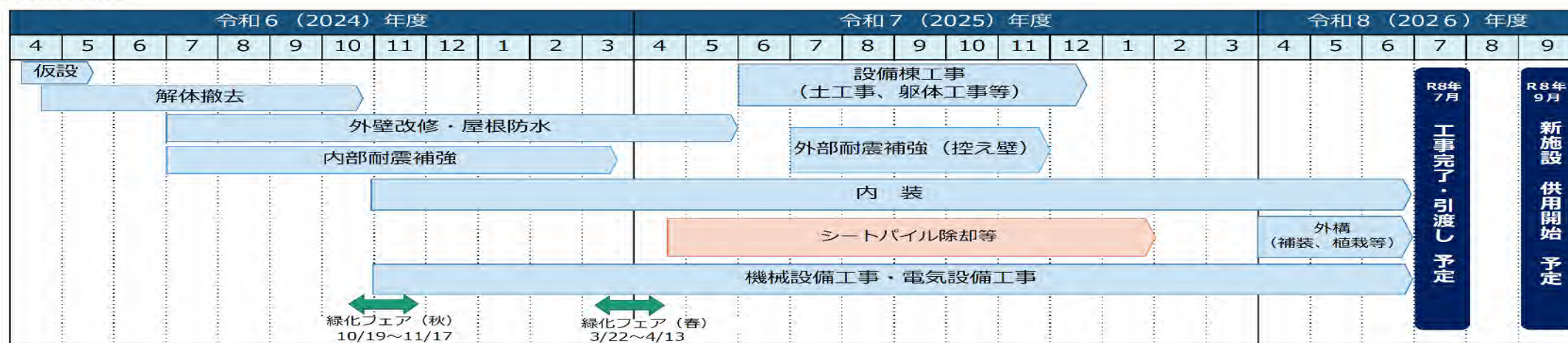
シートパイルの除却等に伴う工期延長について

建物東側で確認されたシートパイルの一部については、令和6年8月に試験的に除却し、これをもとに工法や必要な工期等を精査しました。これを踏まえて、その他のシートパイルの確認及び除却等工事については、仮設足場を撤去した後、令和7年4月中旬から行う予定であり、除却等工事後に、上下水・ガス・電気の設備配管等の埋設、機械設備・電気設備及び外構の工事を行う必要があることから、改修工事全体では約7か月の延長となる見込みです。

【変更前】



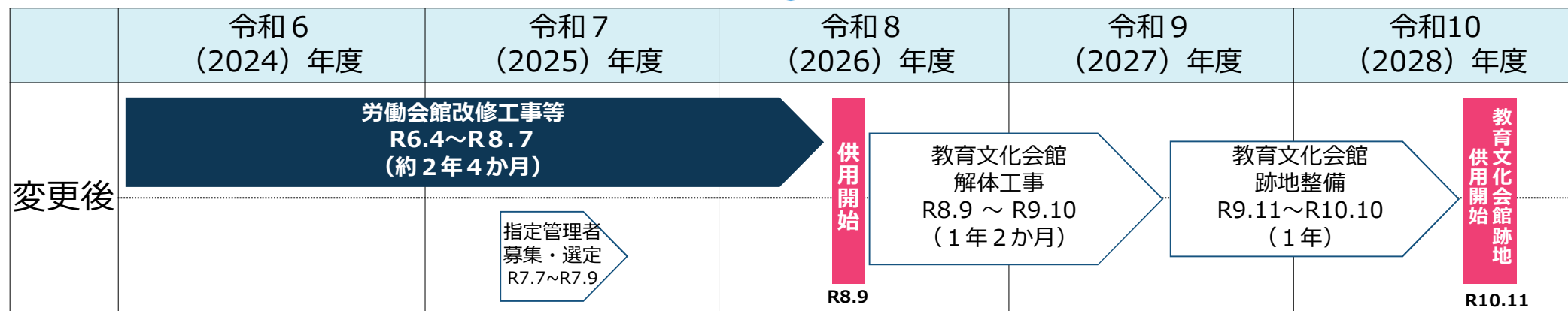
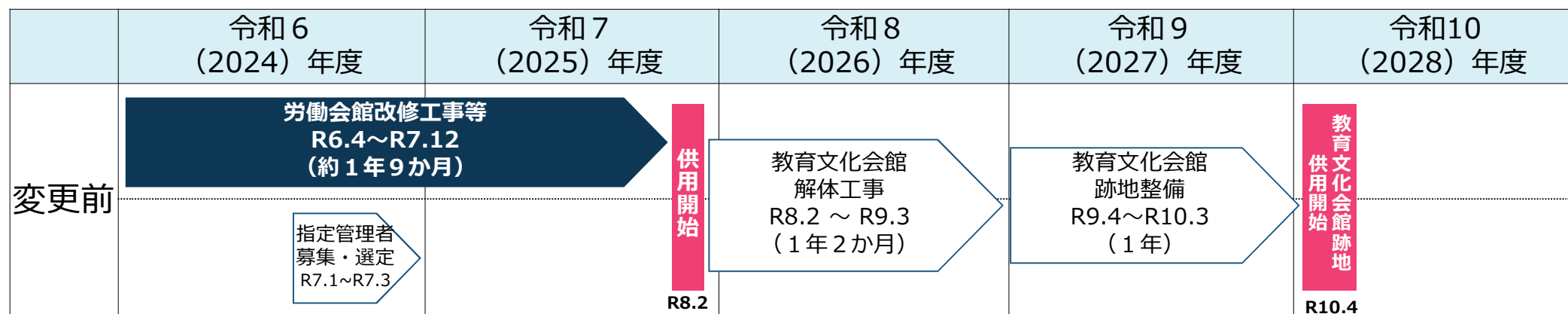
【変更後】



工事期間の延長に伴うスケジュールの変更について

労働会館改修工事等の延長に伴い、川崎市民館・労働会館の供用開始も延期となり、令和8年9月となる見込みです。また、令和7年1月から予定していた指定管理者の募集も令和7年7月に延期となる見込みです。

なお、供用開始後に予定している教育文化会館の解体工事、関連事業である富士見公園再編整備における教育文化会館跡地整備についても延期となり、教育文化会館跡地の供用開始は、令和10年11月となる見込みです。



改修工事費等と関連事業への対応

1 改修工事費等

シートパイルの除却等に当たっては、約0.8億円の工事費が必要となり、また、工事期間が延長することに伴い、共通費等や工事監理費が約2.5億円増額となることから、改修工事費等は合計で約3.3億円の増額となる見込みです。

増加額	内 訳		
	シートパイルの 除却等	共通費等 (工事期間の延長)	工事監理費
約3.3億円	約0.8億円	約2.1億円	約0.4億円

2 関連事業への対応

(1) 教育文化会館

川崎市民館・労働会館の供用開始が延期となることに伴い、教育文化会館の供用期間は延長となり、その間の受付業務や施設の維持管理業務等に係る委託料や修繕料などが必要となることから、関係局区と連携して対応します。

(2) 富士見公園再編整備

教育文化会館の解体工事の着手が延期となることに伴い、跡地に整備予定の市民利用施設の供用開始が延期となる見込みであり、関係局と連携して対応します。

(3) 全国都市緑化かわさきフェア

現時点で埋設しているシートパイルの除却等工事については、全国都市緑化かわさきフェアの終了後に実施する予定であり、開催期間中は、景観に配慮した仮囲いを設置するとともに、来場者の安全への配慮、騒音対策を実施するなどイベントの運営に支障がないよう、関係局と連携して対応します。

公共工事設計労務単価等の改定に伴う特例措置について

【注釈】

このページ以降の「公共工事設計労務単価等の改定に伴う特例措置」（以下「特例措置」という。）については、地中埋設物の除却等とは直接関係があるものではありませんが、工事費等の増額として影響があるものなので、参考に掲載しています。

労働会館改修工事等については、旧労務単価を適用して予定価格を積算し、令和6年3月25日（又は同月28日）に工事請負契約を締結していることから、受注者の請求により、新労務単価に基づく請負代金額に変更できる特例措置の対象となります。

特例措置について、受注者から協議の請求があり、額が確定したことから改修工事費等を合計約4.0億円増額し、変更契約を締結する予定です。

【各工事等の増加額】

名称	増加額
労働会館改修工事（建築）	約2.2億円
労働会館改修電気設備工事	約1.1億円
その他の工事 （空気調和設備その他工事等）	約0.6億円
労働会館改修工事監理業務委託	約0.1億円
合計	約4.0億円

今後の対応について

1 予算措置等

令和6年12月市議会定例会にシートパイルの除却等工事、特例措置に関わる補正予算議案（令和6年度予算の変更及び債務負担行為の設定等）を提出する予定です。また、補正予算の議決後に工事費の増額及び工期延長の変更契約を締結し、令和7年3月市議会定例会に報告する予定です。

なお、工事費は、現在の約77.4億円から約84.2億円（約6.8億円増）となり、工事監理委託料を含めた総額は約85.6億円となる見込みです。

項目	現在の工事費等 (総額)	増加額			変更後の工事費等 (総額)
		シートパイル除却関係 (除却等工事、工期延期等)	特例措置	計	
工事費	約77.4億円	約2.9億円	約3.9億円	約6.8億円	約84.2億円
工事監理 委託料	約0.9億円	約0.4億円	約0.1億円	約0.5億円	約1.4億円
合計	約78.3億円	約3.3億円	約4.0億円	約7.3億円	約85.6億円

※「労働会館改修電気設備工事」については、増加額が契約金額の10%を超えるため、変更契約議案を令和7年3月議会に提出予定です。

2 市民説明

市民の皆様には、川崎市民館・労働会館の供用開始が延期となり、御不便をおかけする期間が長くなることから、今回の報告後に利用団体、町内会等に対して、今後の対応やスケジュール等を説明してまいります。

これまでの再編整備にかかる経過について

参考資料

	事項	供用開始 (予定)	工事費	工事費増額の要因等
平成30 (2018) 年 3 月	川崎区における 市民館機能のあり方	平成34 (2022) 年度	—	—
平成31 (2019) 年 3 月	再編整備に 関する基本構想	平成34 (2022) 年度	—	—
令和 3 (2021) 年 1 月	再編整備 基本計画	令和 6 (2024) 年度	約48.0億円	●特定天井、耐震対策（約 2 年） ※ホール天井改修、耐震補強工事 等
令和 4 (2022) 年 8 月	管理運営計画	令和 6 (2024) 年度	約49.6億円	●労務費の増額（約1.6億円）
令和 5 (2023) 年 2 月	実施設計 (常任委員会報告)	令和7 (2025) 年1月	約69.1億円	●物価高騰による増額（約 8 億円） ●詳細設計による増額（約12億円）
令和 5 (2023) 年8月	入札不調 (常任委員会報告)	令和 8 (2026) 年2月	約79.1億円	●再発注に向けた取組、再入札等（約10か月） ●工事期間の変更（約 3 か月） ●物価高騰及び工期変更による共通費の増額（約10億円）
令和 6 (2024) 年3月	工事請負契約締結	令和 8 (2026) 年2月	約77.4億円 (契約額)	—
令和6 (2024) 年10月	シートパイルの除却等、 特例措置 (常任委員会報告)	令和8年 (2026) 9月	約84.2億円	●シートパイルの除却等（約 7 か月） ●シートパイル除却等による増額（約2.9億円） ●特例措置による増額（約3.9億円）